

普及活動情勢報告（令和４年７月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

グロリオサの切り花品質向上を目指して ～実証ほ調査～



資材の散布

今年度、JA 高知市三里園芸部花卉部会では、グロリオサ切り花品質へのケイ酸資材の効果を調査する実証試験を実施しています。6月22日、実証ほ1か所で、定植前にケイ酸肥料および土壌改良資材の散布を行いました。実証農家からは、「切り花の茎が硬くなるか期待している」、「費用対効果を検証していきたい」といった声が聞かれました。今後は、8月中旬の収穫時に切り花品質を調査し、結果をとりまとめて部会へ報告します。

普及所は、今後も高品質なグロリオサ栽培に向けて、関係機関とともに実証試験の実施や勉強会の開催を支援します。

ドローン防除の実演 ～土佐山柚子生産組合現地検討会～



ドローンによる防除

令和４年７月15日、土佐山地区の現地ユズ園において、土佐山柚子生産組合現地検討会が開催され、生産者など約20名が参加しました。

当日は、土佐山地域振興課ユズ専門指導員による成木園での栽培管理のポイントと普及所による農作業安全についての講習を行った後、支援機関（旭食品六次産業部）によるドローンでの黒点病防除実演を見学しました。

農家からは、ドローンでの防除の実際を見ることができて良かったといった声が聞かれました。

普及所では、今後もスマート農業とユズ栽培の支援を行っていきます。

イチゴ産地の振興に向けて ～介良・五台山合同現地検討会及び栽培講習会～



現地検討会の様子

7月13日、JA 高知市介良・五台山合同現地検討会及び栽培講習会が開催され、生産者11名が参加しました。

現地検討会では、介良生産者の育苗ほ場を巡回し、各生産者は自身の苗の生育状況と比較しながら、栽培管理について活発な意見交換を行っていました。

栽培講習会では、普及所から、炭そ病対策について話しました。生産者からは、作物残渣の処理方法や展着剤の使用方法等について質問がありました。

普及所は、今後もイチゴ産地の振興に向けて支援を行っていきます。

就農状況報告会 ～就農 5 年目までの新規就農者の状況把握と今後について～



個別報告会の様子

7 月 12～14 日の 3 日間、高知市春野町で就農 5 年目までの次世代人材投資事業活用者 17 件について報告会を開催しました。普及所からは、直近 3 年分の決算書から個別経営分析シート・月別出荷量の推移を提示しました。それらを元に R4 年度の課題や次年度の改善策や目標について JA 営農指導員と連携し聞き取り、助言を行いました。

新規就農者からは、「基本にもどり、増収を目指したい」「天敵を併用しながら病虫害対策もしっかり行いたい」「安定生産を確保できる品種選定をしたい」など次年度に向けた抱負や栽培管理等への相談がありました。

普及所は今後も、関係機関と連携しながら新規就農者の安定農業経営に向けた支援を行っていきます。

現場の声を普及活動に ～第 1 回高知地区農業改良普及推進協議会の開催～



重点課題について説明

7 月 4 日、第 1 回高知地区農業改良普及推進協議会を農業者代表や関係機関など 17 人が参加し開催しました。

普及所から、コロナ渦により書面での意見集約となった令和 3 年度第 2 回普及推進協議会の意見への回答をはじめ、令和 3 年度の重点課題の実績や今年度の普及指導計画について説明後、意見交換を行いました。

委員からは「農家が導入しやすい安価な環境測定装置や自動天窓等を紹介してほしい」、「経費高騰で増収しても所得が上がらないので、経営面での指導を願いたい」等の意見が出されました。

普及所は、委員から出た意見を参考に関係機関と連携し、地域や農業の課題解決に取り組みます。